

「お礼の手紙を書こう」

～目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書く～

手紙の構成を理解することに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、この課題を解決するために、本問を活用し、様々な活動の際にお世話になった方への礼状を書く指導事例を紹介しします。なお、本アイデア例は、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

A2 お礼の手紙を書く

A2二 正答率 **41.6%** 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B イ

授業アイデア例

社会科見学でお世話になった田村さんへお礼の手紙を書こう (全2時間)

他教科等において、施設の見学や体験学習を行った際に本単元を設定します。見学や体験が児童の課題発見及び解決を促すような学習となるようにし、児童自ら「お礼の手紙を書きたい」と思うように、相手に対する感謝の気持ちを高めておくことが大切です。

第1時 手紙の構成を確認し、歴史博物館ガイドの田村さんに送る手紙の内容を考える

■ 本問を活用し、手紙の構成と「本文」に書かれている内容を確認した上で、伝えたいことの内容を明確にし、相手にお礼の気持ちが伝わるように、「本文」に書く内容を考える。

手紙の構成

季節の言葉や、自己紹介などを書く

体験したこと 気付いたこと

ポイント

「本文」に書く内容としては、次のようなものが考えられます。

- 手紙を送る相手が話してくれたことの中で一番心に残ったこと
- 体験して気付いたこと
- 見学をして、新たに疑問に思ったこと
- 見学をして興味をもったことについて、本で調べたこと

別れの挨拶、相手を気遣う言葉などを書く

相手の名前を最終行の上の位置に書く

「本文」に書く内容

前文

夏空がまぶしい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史博物館を案内していただき、ありがとうございました。

本文

暑い日が続きますが、お体に気をつけてお過ごしください。

後付け

七月四日

田村 一郎 様

山下 明

私は、体験して気付いたことを「本文」に書くと思っているんだけど、みんなはどんなことを書くのかな。

私は、田村さんが「この時代は争いが少なかったんだよ」と教えてくれたのが一番心に残ったから、そのことを書こうと思っているよ。

縦書きの手紙の場合、相手の名前を最終行の上の位置に書くことで、相手への敬意を示すことにつながります。手紙の形式がもつ意味を理解しておくことが大切です。

体験して気付いたことや、心に残ったことなどを具体的に書くと、相手に感謝の気持ちがより伝わります。

第2時 感謝の気持ちが表れるようにお礼の手紙を書く

■ お礼の手紙を書き、友達と読み合っ構成や内容について助言し合う。

手紙の構成や内容を吟味したり、形式を整えたりすることが、相手に対する感謝の思いや敬意を表すことにつながるということを指導することが大切です。



本授業アイデア例 活用のポイント!

- 礼状を送った相手からの言葉を児童に伝えることで、相手を明確にして気持ちを伝えたり、返事をもらったりするという、書いた手紙で交流する楽しさを児童が実感できるようにすることが大切です。
- 手紙を書く学習活動を、国語科のみならず、国語科との関連を図りながら、各教科等に意図的、計画的に設定することが重要です。

参照 ▶ 「平成29年度 報告書 小学校 国語」P.26～P.29, 「平成29年度 解説資料 小学校 国語」P.18～P.21